

質問及び意見書として提出します。

「淀川水系河川整備計画原案について 上野遊水地及び川上ダムの事業計画」の説明に対する疑問

2007年10月4日

自然愛・環境問題研究所 代表 浅野 隆彦

- 1) 昭和28年13号台風(5313洪水)による浸水被害は何故大きかったのか。それには特別な理由が存在している。40日前の「東近畿大豪雨」と言われた前線性集中豪雨の後片付けが出来ていなかった事にある。岩倉峡右岸に高旗山系が聳える。その麓、山腹にあった西山地区で12人の死者が出るという、土石流による惨禍があった。家屋の多く、巨岩、土砂などが3溪流を流れ落ち、湯蓋川出合、宮川落合などを埋め、峡谷に巨岩が乱立したのである。そこへ上流から木橋なども流れきて堰上げ、上野北西部を中心に470haもの浸水となったものである。特に巨岩などは、重機の無い当時のことで、後回しになり、台風がやって来てしまったのであった。その上、上野市内の橋は本復旧が出来ていず、その仮橋も全て流れ来て、岩倉峡「玄関」では高い堰上げが起こったのである。それが浸水面積540haの結果を生んだものであり、その特殊性に「目を瞑って治水を説くのは、詐欺」同然である。

又現在は、(5313洪水)以後、昭和43年(建設省直轄となる)に至るまで岩倉峡の多くの巨岩、名石が「流水を阻害している」との名目で「引き上げられ」て来た為に、岩倉峡の「疎通能力」は格段に上っているのである。それを確りと認識し、前提とし、P.13までの記述を全て「修正」すべきではないか?その「証拠」に、岩倉地点の水位流量曲線について、では従前の主張を翻し、私の「流下能力の検討」の「粗度係数」 $n=0.0378$ と殆んど変わらぬ $n=0.037$ を今回から使用するとしているが、計画高水位の問題を含め、実際は詐欺的な説明に終始している。これらを改める考えはないか?

- 2) 「既設ダムの長寿命化」(ダムのアセットマネジメント)について、私は正直言って笑ってしまった。誰かさんは『近畿地整にも頭のイイのが居て、こんな悪知恵を出してきたか!』と感心しておられたが、私は『アセットリマンネンナア!』と言って上げたい。きっと、トコトン説明してくれまっか?!とせがんだら、立ち往生するしかオマヘンのでっせ!水資源機構関西支社事業部特命審議役の森川さんも困っておられるのではないか?まだまだ「課題の残る」問題だけに、こんなにも早く、川上ダムを巻き込んで立案してしまっって、どう説明したら良いのか?嘘をつくのも嫌だし、川上ダムは「機構」の「課題?」だし、森川一郎さんは本当に困るのである。この疑問としては、先ずは「何故、川上ダムが無ければ、既設のダムだけでもやれる堆砂陸上掘削ローテーションができないのか?」ここを詳しく説明されたい。それをマトモに答えられれば、次の再質問を行いたいと思う。

- 3) 利水者からの転用の可能性に掲げている表に最大取水量だけでなく平均取水量も記載されたい。{P.23 図 44}

- 4) 農業用水の取水実態において、① 届出水量以上に取水している原因は「かけ流し」であること。として許容するかのような記述があるが、「温泉なら嬉しい」が水田とは言え「掛け流し」でやると、養分の流出が甚だしい。化成肥料の多用につながり、河川水質への負荷が増えても良いと考えているのか？
- 5) ② 耕地に入らない水量は本川に還元されるため、本川下流取水への悪影響はないこと。としているが、例として、森井堰の場合は伊賀市上水水源取水場より下流へ排出されており、悪影響があったではないか？これは如何？
- 6) 水需要予測（伊賀市水道）で4本の折れ線があるが、夫々は計画案の中の何を示すものか？
- 7) 伊賀市の行政区域人口の実績は、平成15年度99,064人から毎年、減少を続けており、平成18年度では97,608人である。この3年の平均減少数は485人/年であるが、年々逓減率が上り、平成17年と平成18年度では603人の減少となっている。この傾向は高齢者が非常に多いとされる同市の「少子化」を含む人口動向の中で、今後ますます増幅されていくものと考えられており、経済的な内容を含むと平成30年度において85,000人～82,000人程度と私は見ている。しかし、伊賀市の水道事業基本計画策定委員会では94,750人と目標を定めている。1万以上の差であり、この違いが私の指摘通りになった場合の事を考えると、莫大な過剰投資での伊賀市民負担の大きさを思い遣らずにはいられない。経済産業省の統計もあるので、河川管理者は公正な立場！に立って、伊賀市への指導をすべきではないか？ {P. 15 図 29}
- 8) 川上ダム地点の計画規模1/100における「基本高水選定」の内容が示されていない。詳細を示されたい。
- 9) 利水者からの転用の可能性について、本当は「利水者との協議」（転用を求める）がないのではないか？その「協議録」を示されたい。
- 10) 川上ダムの種々の代替案について、その検討の詳細を示されたい。特に関係者との「話し合い」記録を示されたい。